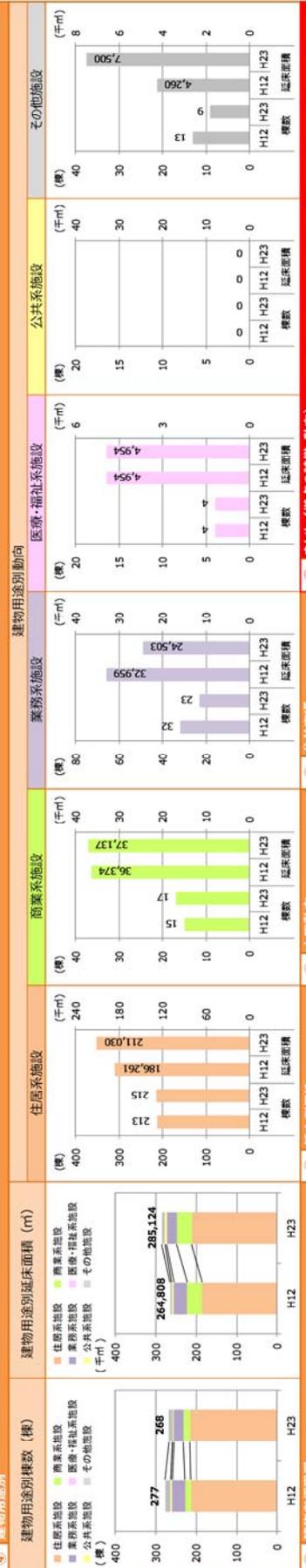
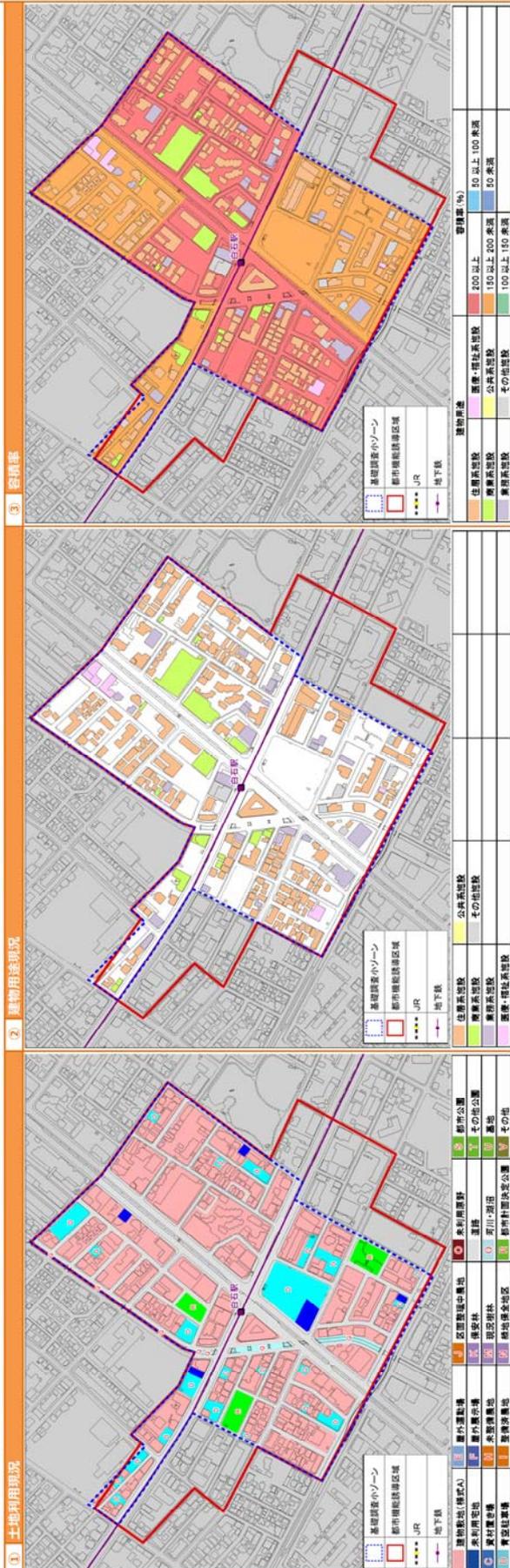
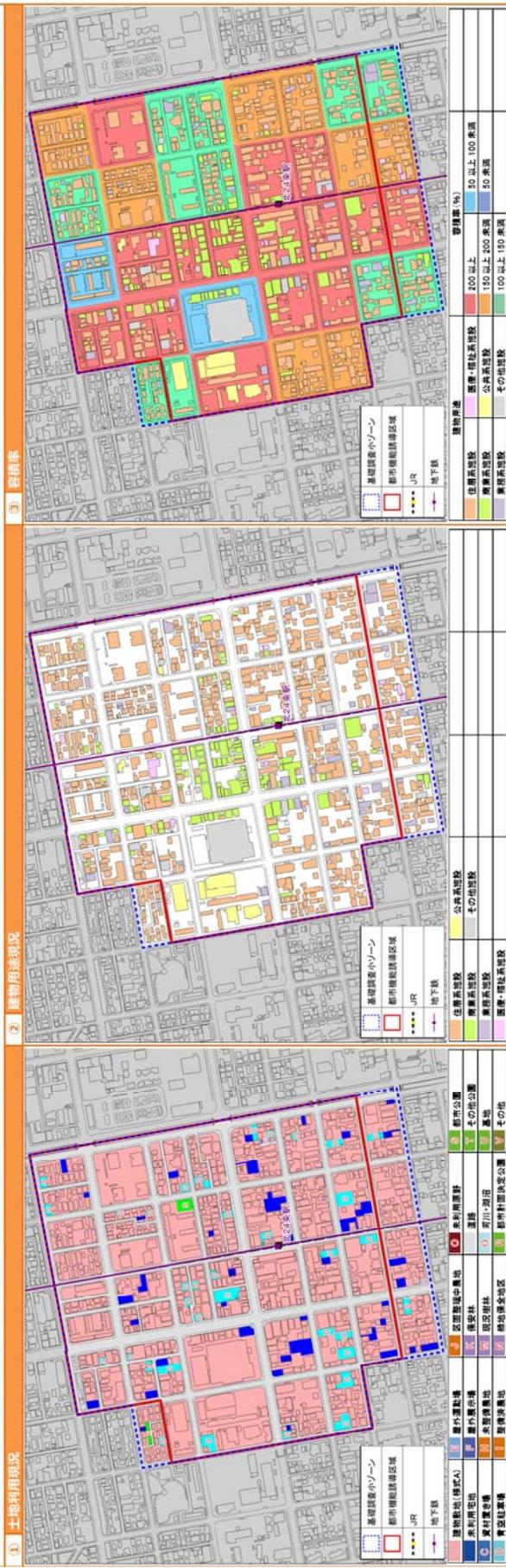


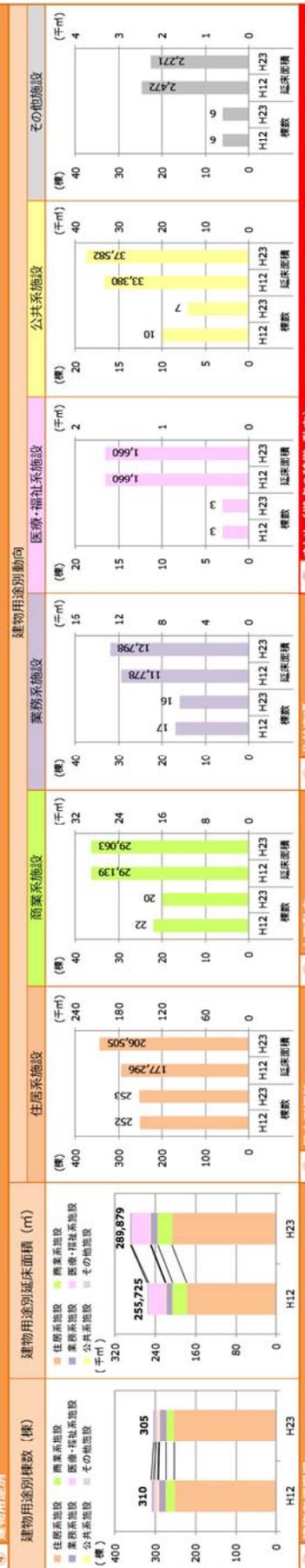
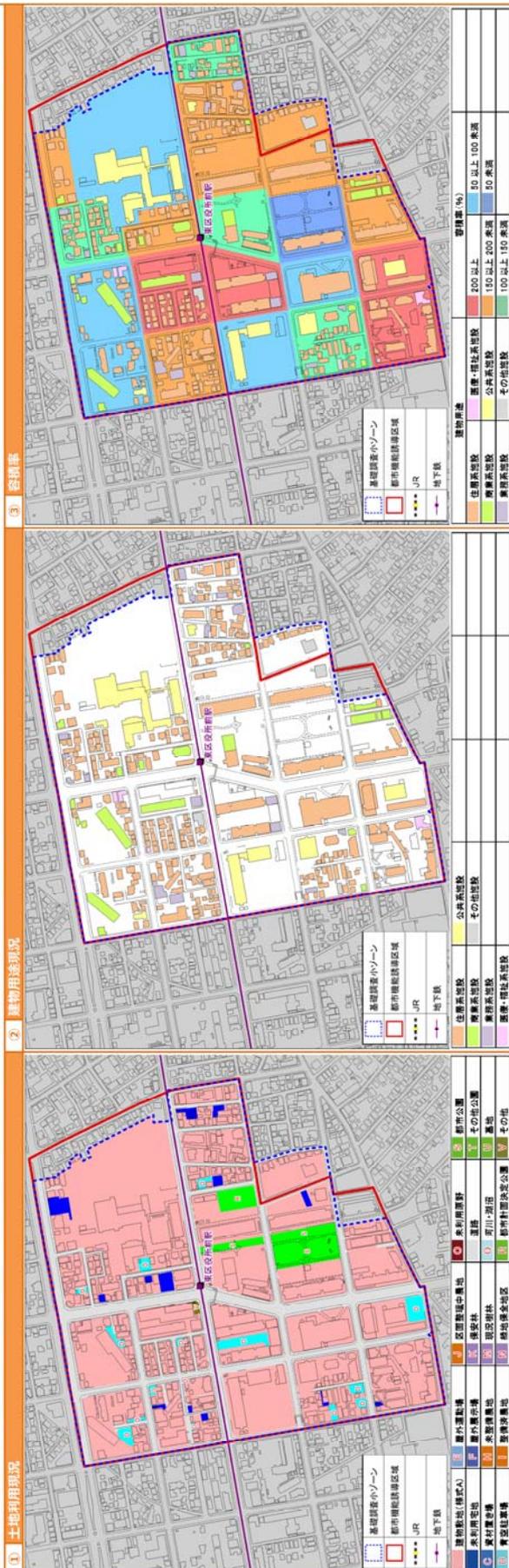
※①土地利用状況～⑥低未利用地面積：都市計画調査データをもとに算出。⑦人口動向：国勢調査データをもとに算出。⑧JR-地下鉄乗車人員：JR東日本発表データ。⑨まとめ：本計画に基づき、各階率の向上が、高齢化率の向上を促す。JR東日本地下鉄との間に、多くの商業施設が集まっている。西武池袋線及び西武東上線等の公共施設が立地している。H12年～H23年の間に、住居系、商業系及び医療・福祉系施設の延床面積が増加している。低未利用地は減少傾向となっている。JR東日本地下鉄地下鉄線が存在し、H12年～H22年の間でJRの乗車人員は増加傾向であるが、地下鉄の乗車人員は減少傾向となっている。JR東日本地下鉄線が存在し、H12年～H22年の間でJRの乗車人員は増加傾向であるが、地下鉄の乗車人員は減少傾向となっている。JR東日本地下鉄線が存在し、H12年～H22年の間でJRの乗車人員は増加傾向であるが、地下鉄の乗車人員は減少傾向となっている。



※①土地利用状況～⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データを1000㎡単位で集計 (H12.3.31及びH23.3.31時点) ※⑦人口動向：国勢調査データを1000㎡単位で集計 (H12.10.1及びH22.10.1時点) ※⑧公共交通：都市機能誘導区域内の各駅のH12年度及びH22年度の一日平均乗車人員を集計 (出典：札幌の都市交通データ)



※①土地利用現況～⑥低未利用地面積：都市計画課調査データを小ゾーン単位で集計 (H12.3.31及びH23.3.31時点) ※⑦人口動向：国勢調査データを小ゾーン単位で集計 (H12.10.1及びH22.10.1時点) ※⑧公共交通：都市機能誘導区域内の各駅のH12年度及びH22年度の一日平均乗車人員を集計 (出典：札幌の都市交通データ)



建物用途別延床面積 (㎡)

老朽建物延床面積 (㎡)

低未利用地 (㎡)

人口動向 (人)

公共交通 (人/日)

まとめ(拠点の特徴・動向)

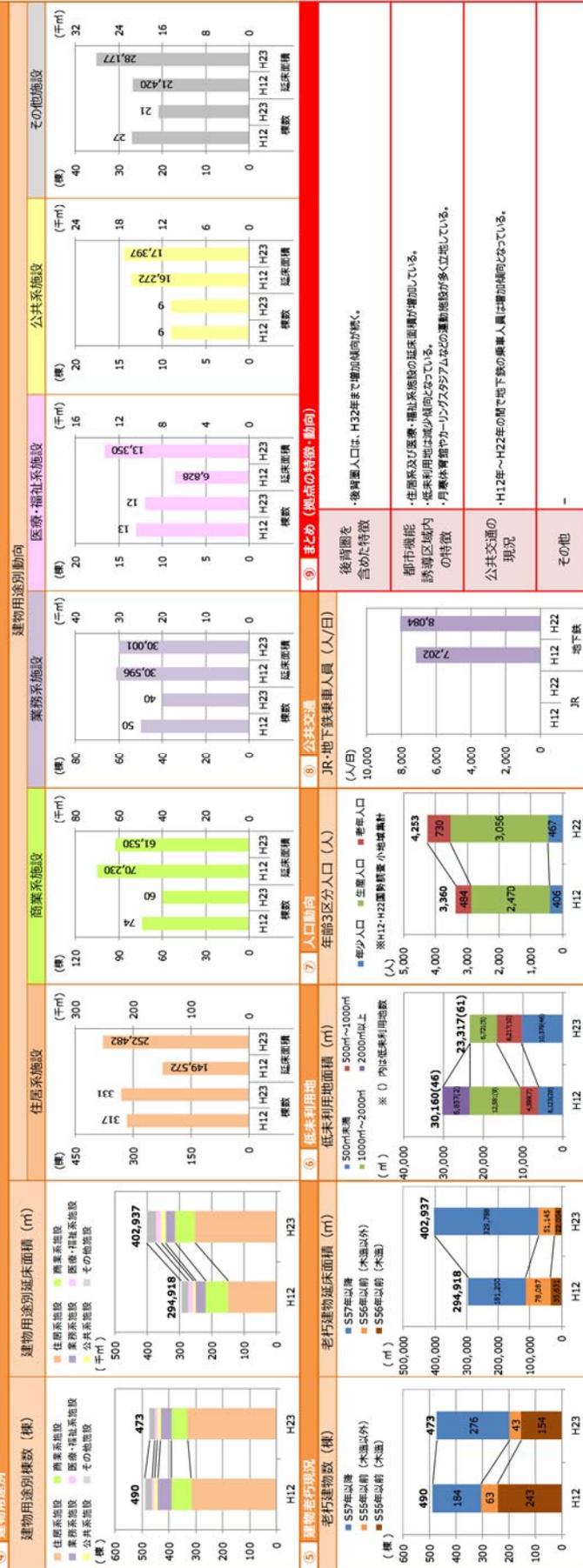
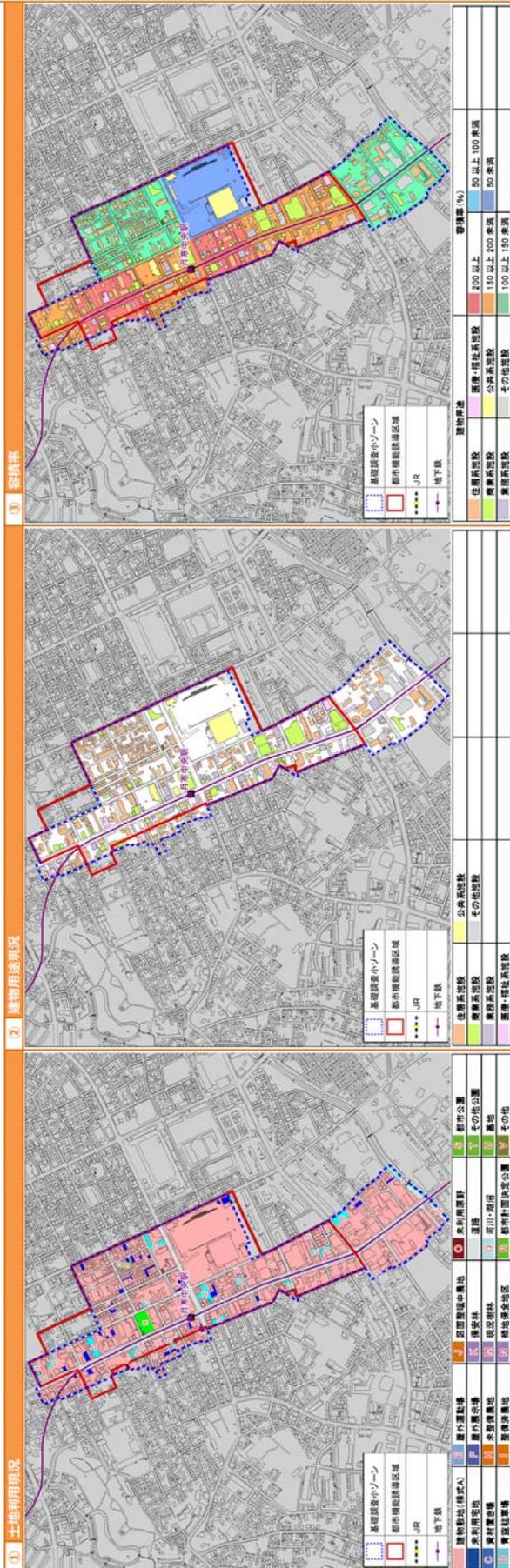
後背圏を合わせた特徴

都市機能誘導区域内の特徴

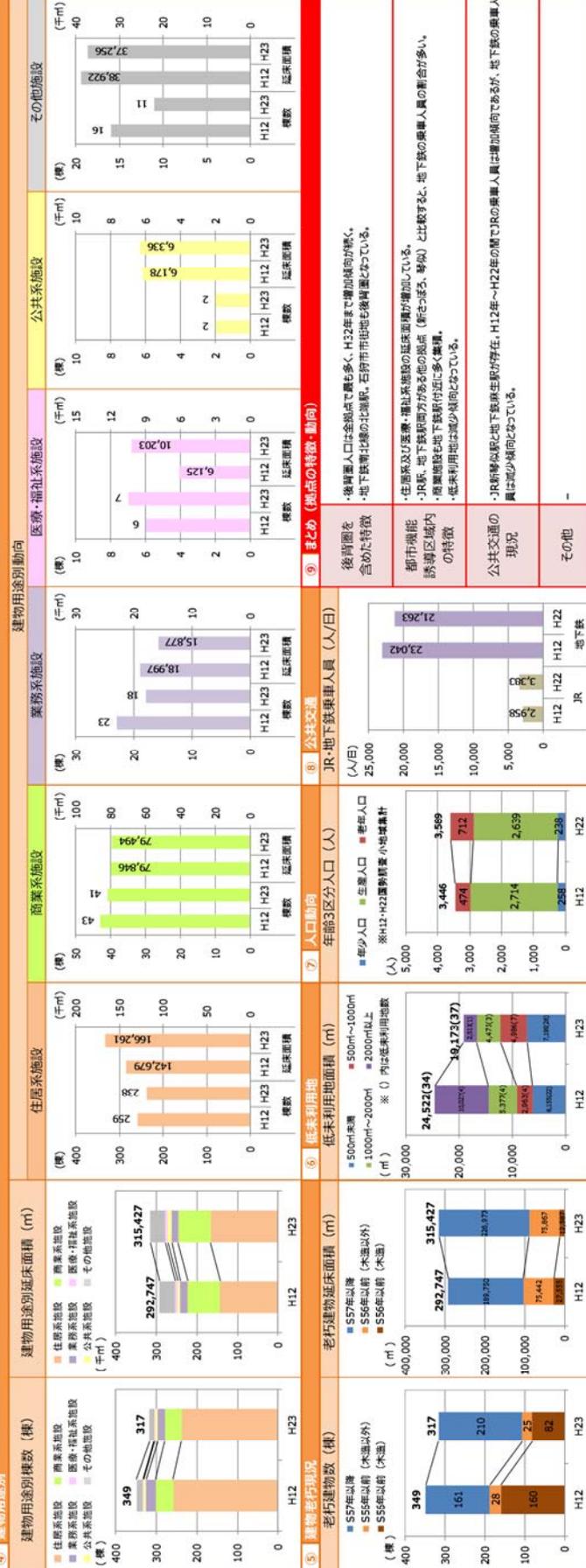
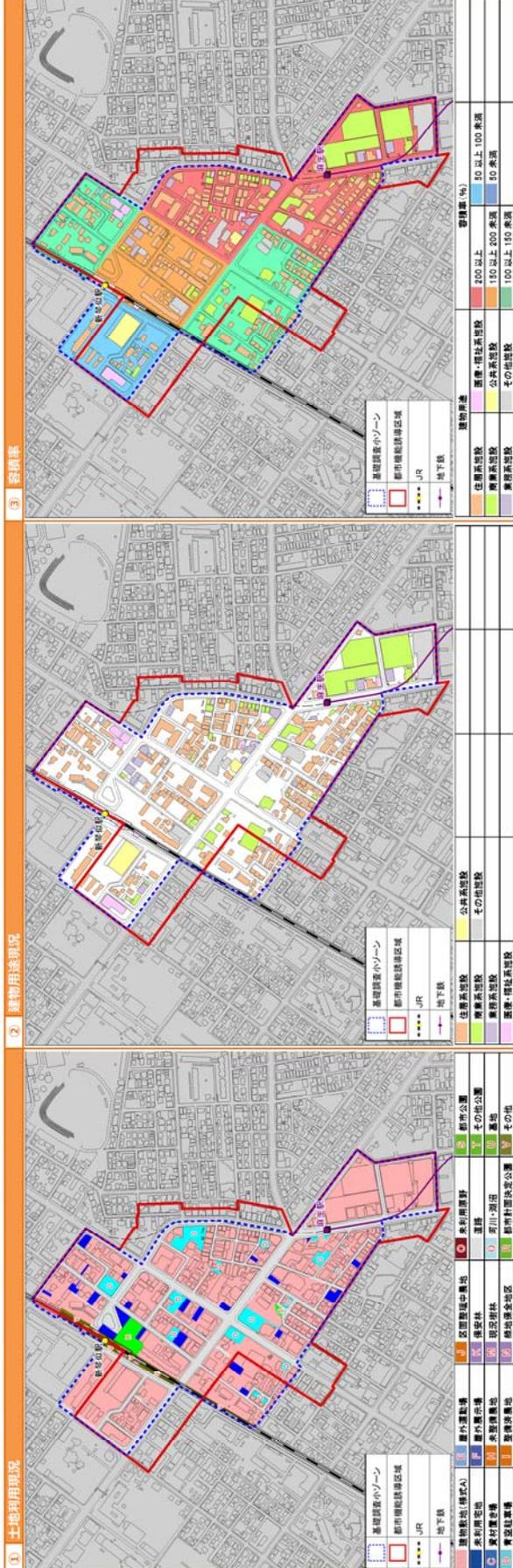
公共交通の現状

その他

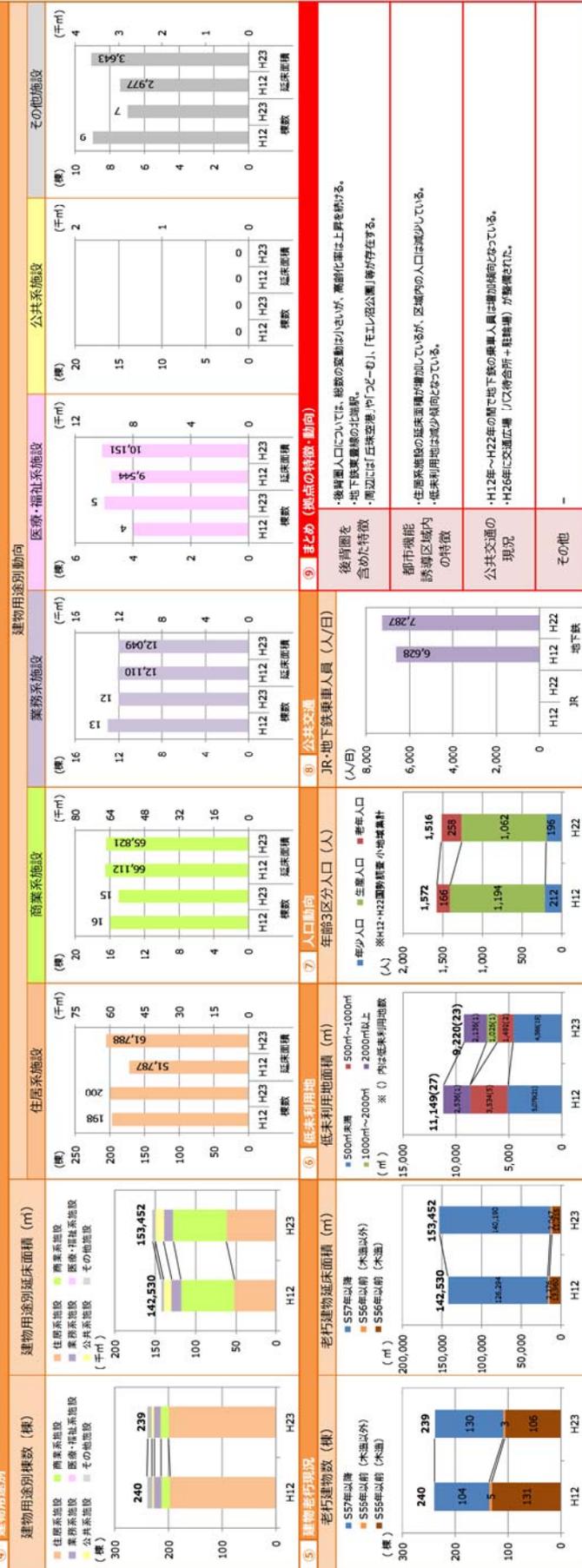
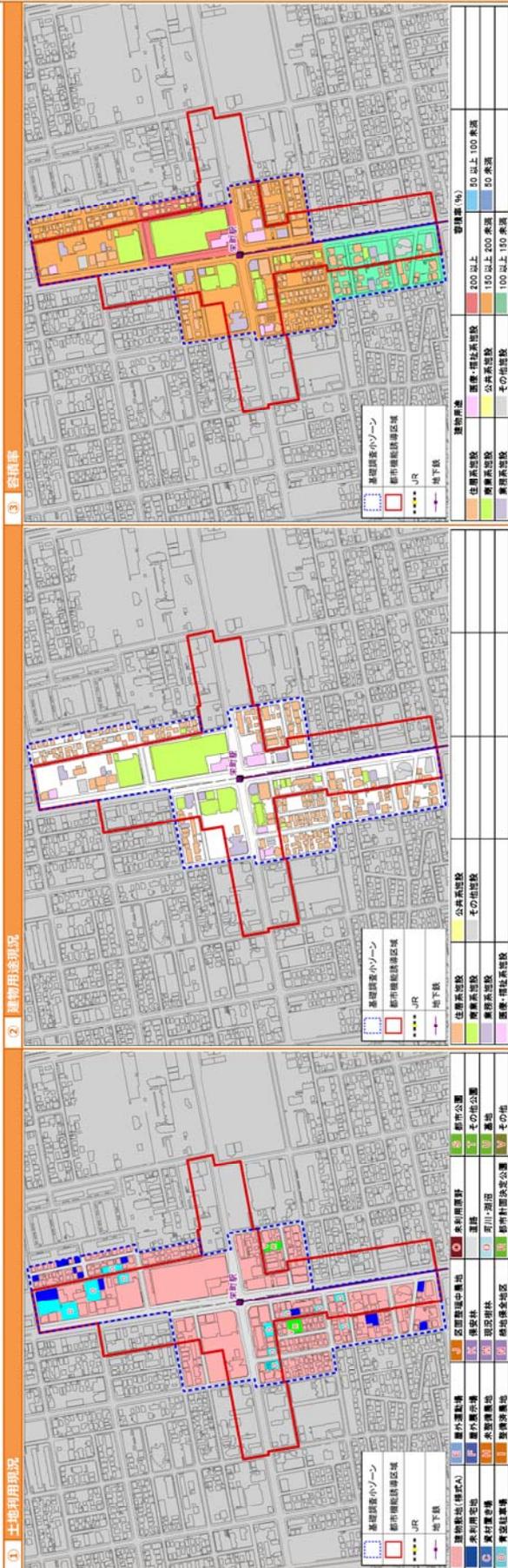
※①土地利用状況への低未利用地面積：都市計画基礎調査データを小ソウシで集計 (H12.3.31及びH23.3.31時点) ※②人口動向：国勢調査データを小ソウシで集計 (H12.10.1及びH22.10.1時点) ※③公共交通：都市機能誘導区域内の各駅のH12年度及びH22年度の一日平均乗車人数を集計 (出典：札幌の都市交通データ)



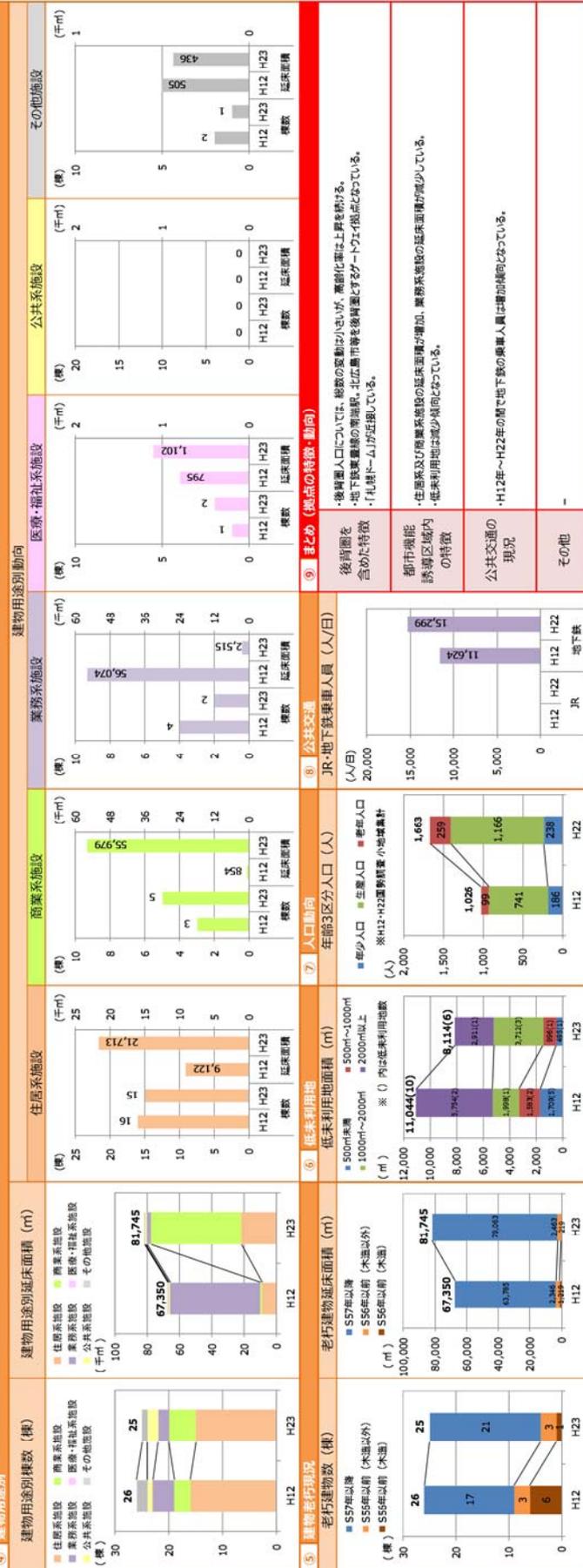
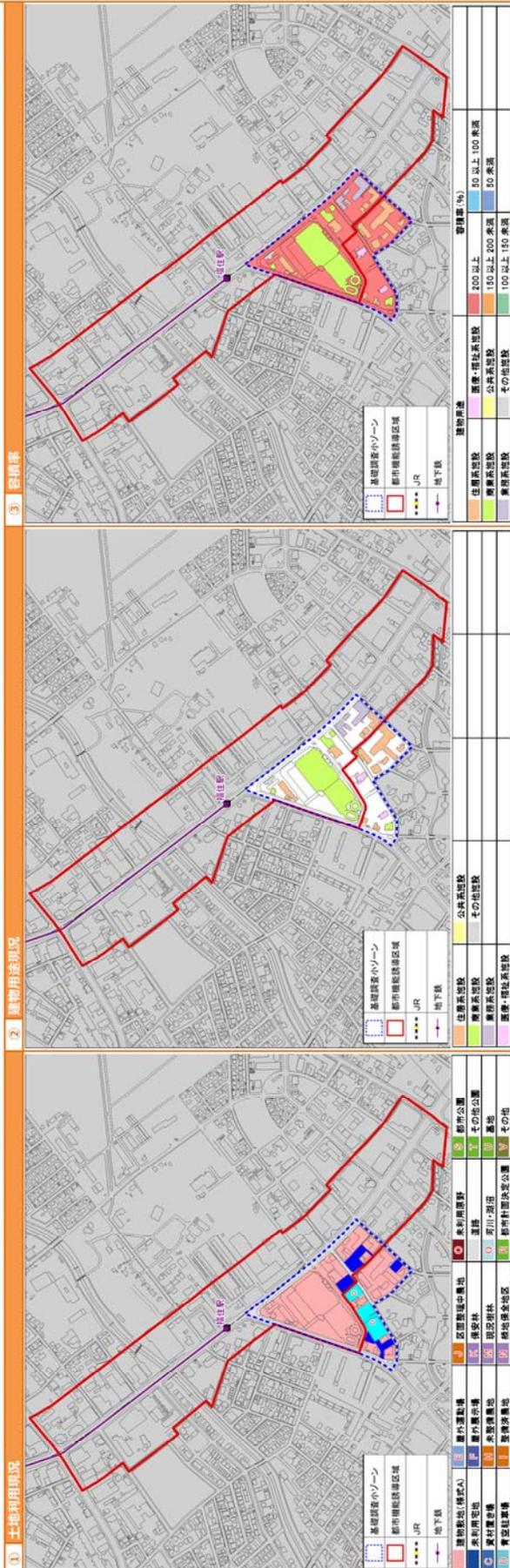
※①土地利用状況～⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データを小地区単位で集計 (H12.3.31 及び H23.3.31 時点) ※⑦人口動向：国勢調査データを小地区単位で集計 (H12.10.1 及び H22.10.1 時点) ※⑧公共交通：都市機能誘導区域内の各駅のH12年度及びH22年度の一日平均乗車人員を集計 (出典：札幌の都市交通データ)



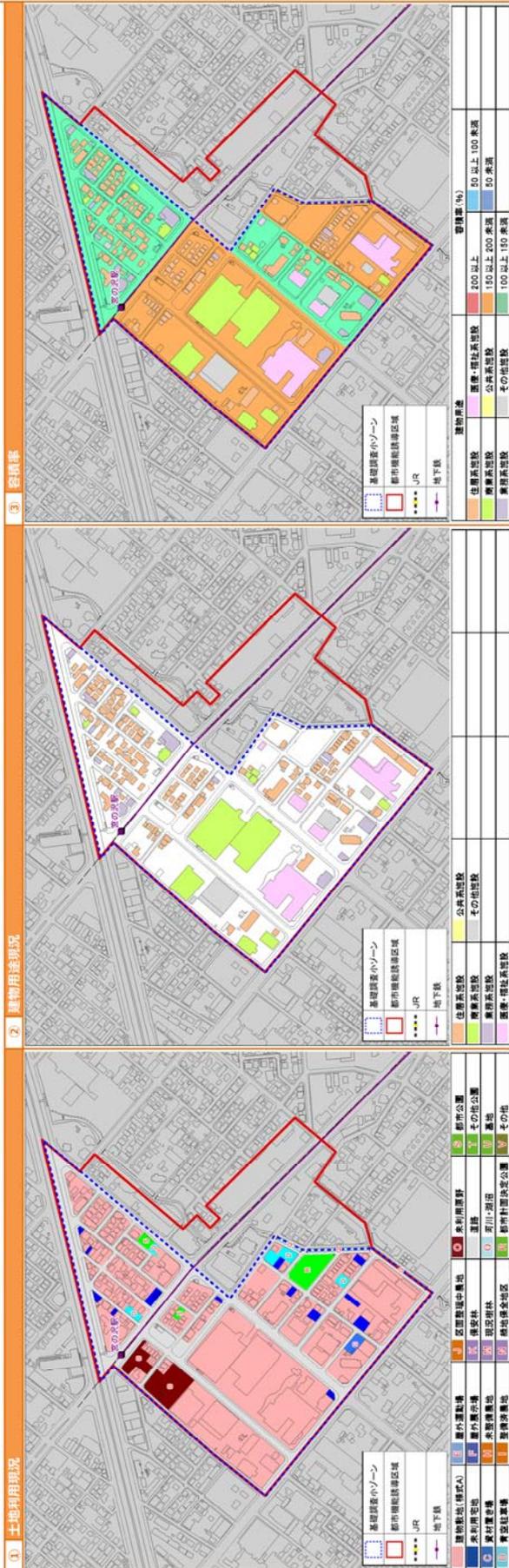
※①土地利用現況は⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データを基に算出 (H12.3.31及びH23.3.31時点) ※②人口動向：国勢調査データを基に算出 (H12.10.1及びH22.10.1時点) ※③公共交通：都市機能誘導区域内の各駅のH12年度及びH22年度の一日平均乗車人員を算出 (出典：札幌市の都市交通データ)



※①土地利用状況～⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データをベースに作成。都市計画基礎調査データをベースに作成。都市計画基礎調査データをベースに作成。  
 ※⑦人口動向：国勢調査データをベースに作成。都市計画基礎調査データをベースに作成。都市計画基礎調査データをベースに作成。  
 ※⑧公共系施設：都市計画基礎調査データをベースに作成。都市計画基礎調査データをベースに作成。都市計画基礎調査データをベースに作成。



※①土地利用状況～⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データを基に算出。都市計画基礎調査データの都市計画区域外は、土地利用状況に反映されていない。  
 ※⑦人口動向：国勢調査データを基に算出。H12.10.1及びH22.10.1時点。 ※⑧公共交通：都市機能誘導区域内の各駅のH12年度及びH22年度の一日平均乗車人員を算出（出典：札幌市交通局）

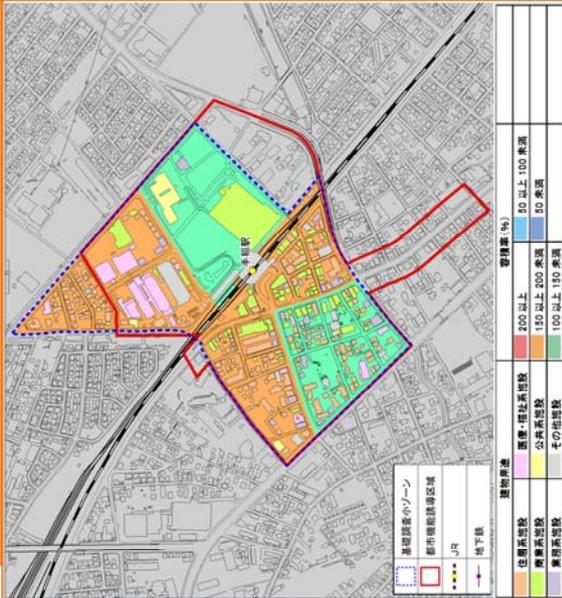


建物用途別延床面積 (棟)	住居系施設	商業系施設	業務系施設	医療・福祉系施設	公共系施設	その他施設
<p>建物用途別延床面積 (棟)</p> <p>188, 137,943, 158,669</p> <p>H12 H23 H23</p>	<p>住居系施設</p> <p>188, 46,608, 38,530</p> <p>H12 H23 H12 H23</p>	<p>商業系施設</p> <p>11, 44,649, 45,711</p> <p>H12 H23 H12 H23</p>	<p>業務系施設</p> <p>14, 7,611, 8,224</p> <p>H12 H23 H12 H23</p>	<p>医療・福祉系施設</p> <p>5, 30,897, 38,944</p> <p>H12 H23 H12 H23</p>	<p>公共系施設</p> <p>0, 0, 0, 0, 0, 0</p> <p>H12 H23 H12 H23</p>	<p>その他施設</p> <p>7, 8,178, 7,460</p> <p>H12 H23 H12 H23</p>

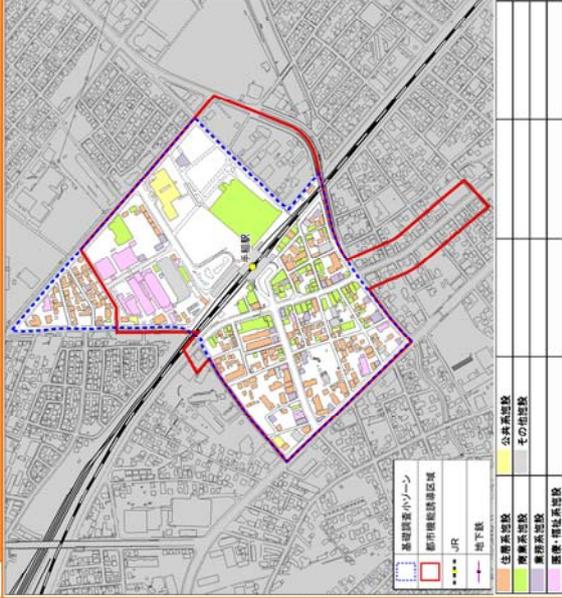
建物用途別延床面積 (㎡)	住宅系施設	商業系施設	業務系施設	医療・福祉系施設	公共系施設	その他施設
<p>住宅系施設</p> <p>188, 137,943, 158,669</p> <p>H12 H23 H23</p>	<p>商業系施設</p> <p>11, 44,649, 45,711</p> <p>H12 H23 H12 H23</p>	<p>業務系施設</p> <p>14, 7,611, 8,224</p> <p>H12 H23 H12 H23</p>	<p>医療・福祉系施設</p> <p>5, 30,897, 38,944</p> <p>H12 H23 H12 H23</p>	<p>公共系施設</p> <p>0, 0, 0, 0, 0, 0</p> <p>H12 H23 H12 H23</p>	<p>その他施設</p> <p>7, 8,178, 7,460</p> <p>H12 H23 H12 H23</p>	

※①土地利用現況～⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データをハブゾーン単位で集計（H12.3.31及びH23.3.31時点） ※⑦人口動向 ※⑧人口動向 ※⑨人口動向 ※⑩人口動向 ※⑪人口動向 ※⑫人口動向 ※⑬人口動向 ※⑭人口動向 ※⑮人口動向 ※⑯人口動向 ※⑰人口動向 ※⑱人口動向 ※⑲人口動向 ※⑳人口動向 ※㉑人口動向 ※㉒人口動向 ※㉓人口動向 ※㉔人口動向 ※㉕人口動向 ※㉖人口動向 ※㉗人口動向 ※㉘人口動向 ※㉙人口動向 ※㉚人口動向 ※㉛人口動向 ※㉜人口動向 ※㉝人口動向 ※㉞人口動向 ※㉟人口動向 ※㊱人口動向 ※㊲人口動向 ※㊳人口動向 ※㊴人口動向 ※㊵人口動向 ※㊶人口動向 ※㊷人口動向 ※㊸人口動向 ※㊹人口動向 ※㊺人口動向 ※㊻人口動向 ※㊼人口動向 ※㊽人口動向 ※㊾人口動向 ※㊿人口動向

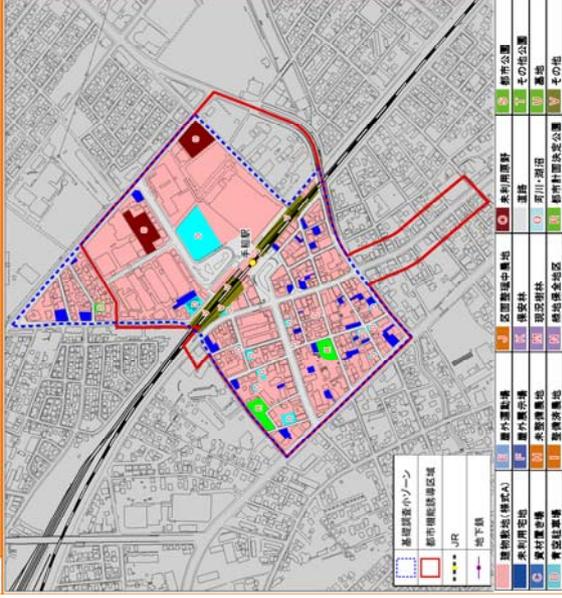
① 土地利用状況



② 建物用途別状況



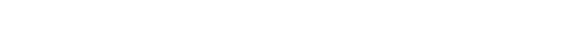
③ 交通状況



④ 建物用途別延床面積 (㎡)



⑤ 建物老朽状況 (棟)



⑥ 低未利用地



⑦ 人口動向



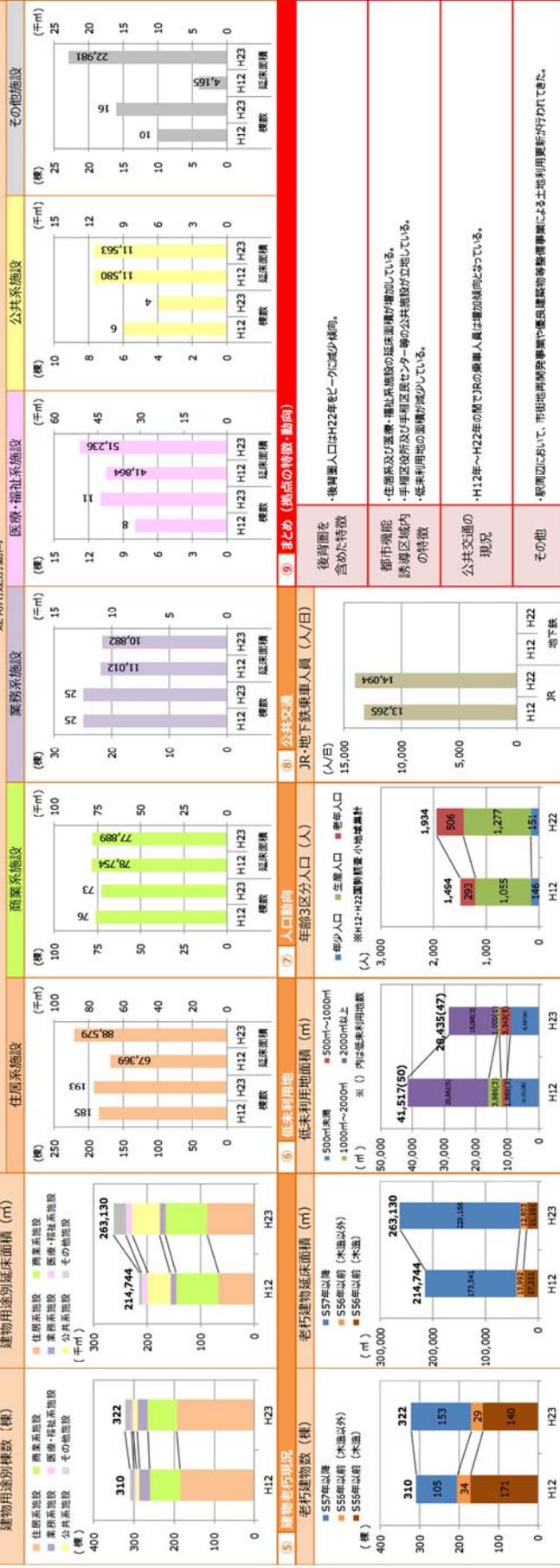
⑧ 公共交通



⑨ まとめ (拠点の特徴・動向)

後背圏を合わせた特徴  
 ・後背圏人口はH22年をピークに減少傾向。  
 ・生活系及び医療・福祉系施設の延床面積が増加している。  
 ・手前区役所及び手前区民センター等の公共施設が立地している。  
 ・低未利用地の面積が減少している。  
 ・H12年～H22年間でJRの乗車人員は増加傾向にあり、  
 ・H23年～H22年間でJRの乗車人員は増加傾向にあり、  
 ・駅周辺において、市街地再開発事業や優良建築物整備事業による土地利用更新が行われてきた。

建物用途別動向



建物用途別延床面積 (㎡)



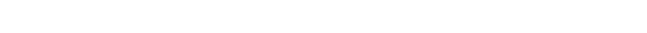
建物老朽状況 (棟)



低未利用地



人口動向



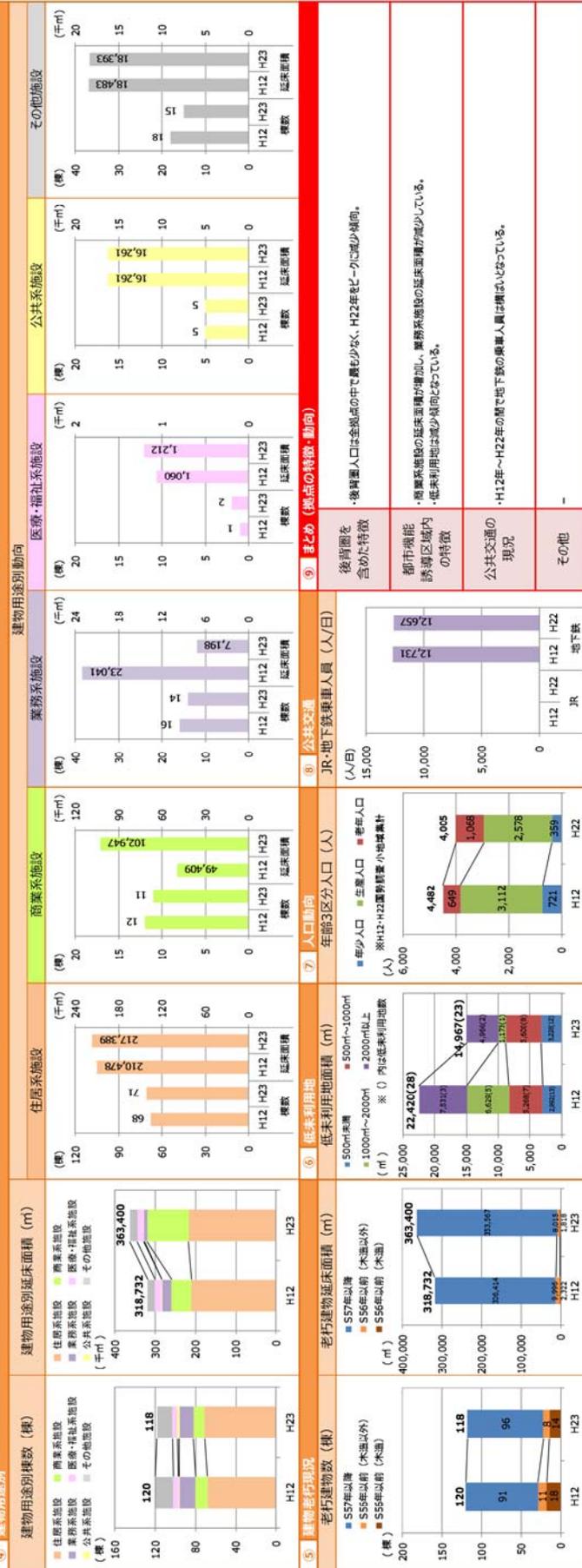
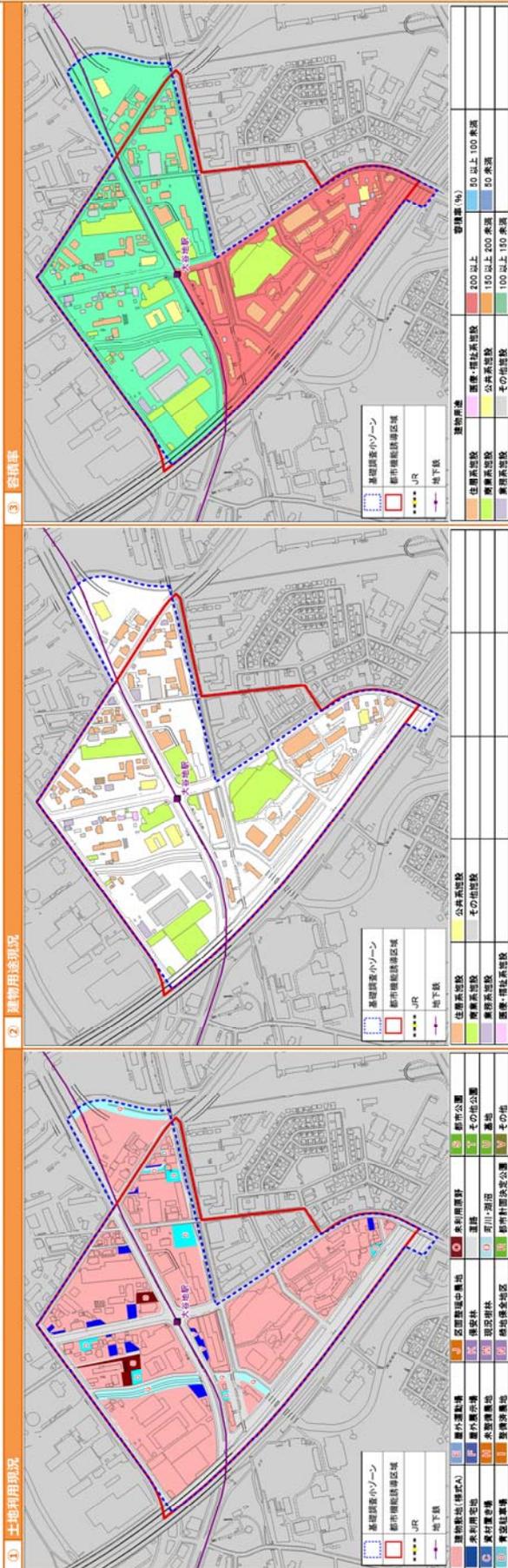
公共交通



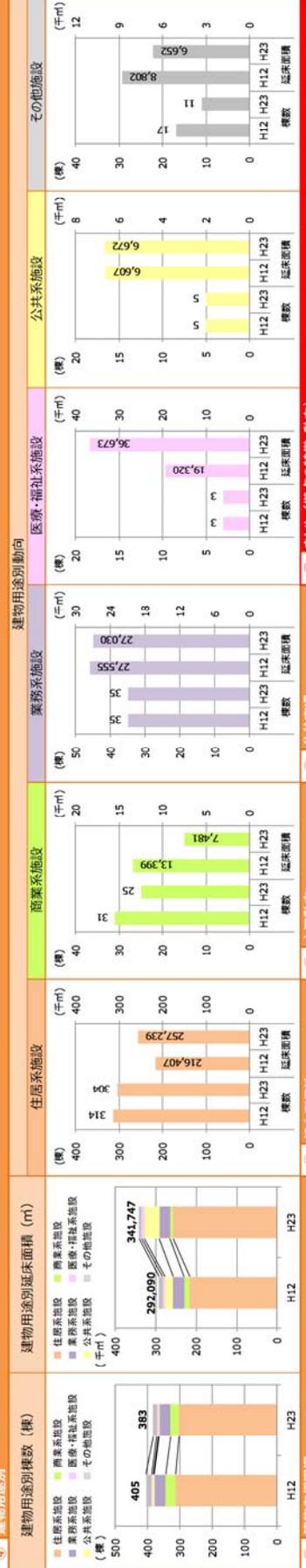
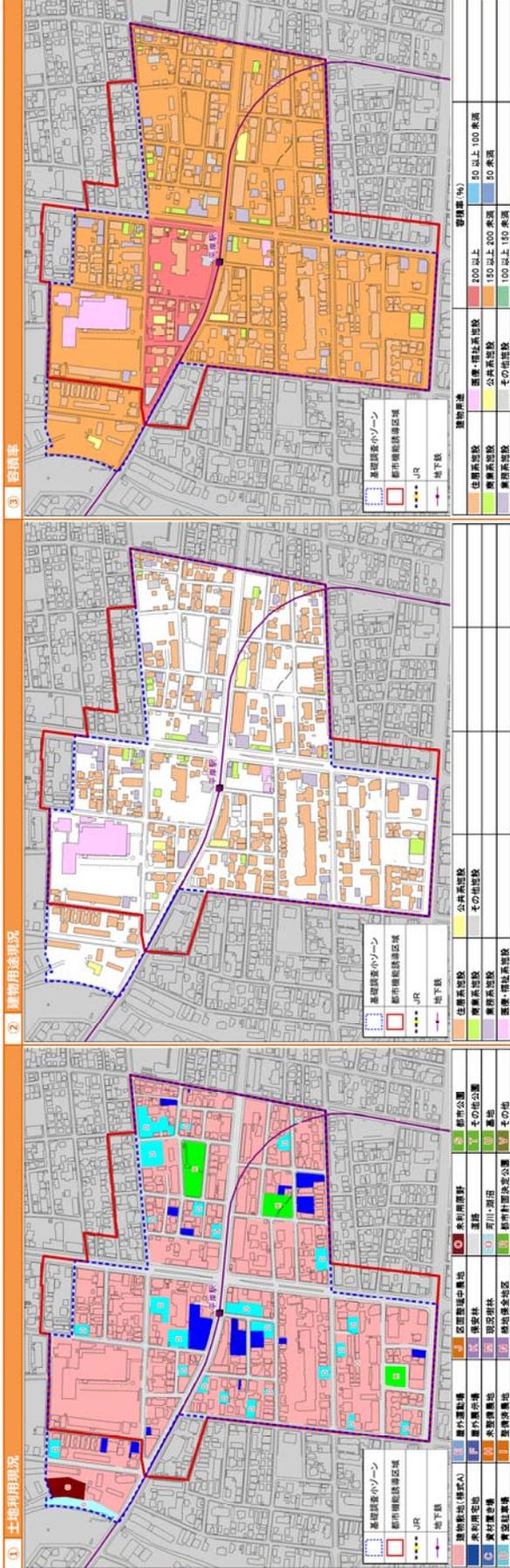
まとめ (拠点の特徴・動向)

後背圏を合わせた特徴  
 ・後背圏人口はH22年をピークに減少傾向。  
 ・生活系及び医療・福祉系施設の延床面積が増加している。  
 ・手前区役所及び手前区民センター等の公共施設が立地している。  
 ・低未利用地の面積が減少している。  
 ・H12年～H22年間でJRの乗車人員は増加傾向にあり、  
 ・H23年～H22年間でJRの乗車人員は増加傾向にあり、  
 ・駅周辺において、市街地再開発事業や優良建築物整備事業による土地利用更新が行われてきた。

※①土地利用状況～⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データをベースに算出。都市計画基礎調査データのH12、H23、H22年度の名前の各駅の名前の各駅の一日平均乗車人員を算出（出典：札幌の都市交通データ）  
 ※⑦人口動向：国勢調査データをベースに算出。都市計画基礎調査データのH12、H23、H22年度の名前の各駅の名前の各駅の一日平均乗車人員を算出（出典：札幌の都市交通データ）  
 ※⑧公共交通：都市計画基礎調査データをベースに算出。都市計画基礎調査データのH12、H23、H22年度の名前の各駅の名前の各駅の一日平均乗車人員を算出（出典：札幌の都市交通データ）



※①土地利用状況～⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データを小ゾーン単位で集計 (H12.3.31 及び H2.3.31 時点) ※⑦人口動向：国勢調査データを小地域単位で集計 (H12.10.1 及び H22.10.1 時点) ※⑧公共交通：都市機能誘導区域内の各駅の H12 年度及び H22 年度の一日平均乗車人員を集計 (出典：札幌の都市交通データ)



建物用途別延床面積 (m)	老朽建物延床面積 (m)	低未利用地 (m)	人口動向 (人)	公共交通 (人/日)	まとめ (拠点の特徴・動向)
<p>住居系施設</p> <p>商業系施設</p> <p>医療・福祉系施設</p> <p>公共系施設</p> <p>その他施設</p>	<p>55年以降</p> <p>55年以前 (木造以外)</p> <p>55年以前 (木造)</p>	<p>500m未満</p> <p>500m~1000m</p> <p>1000m~2000m</p> <p>2000m以上</p>	<p>年少人口</p> <p>生業人口</p> <p>老年人口</p>	<p>JR-地下鉄乗車人員 (人/日)</p>	<p>後背圏を 含めた特徴</p> <p>都市機能 誘導区域内 の特徴</p> <p>公共交通の 現状</p> <p>その他</p>

※①土地利用状況～⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データをベースに算出 (H12.3.31 及び H23.3.31 時点) ※⑦人口動向：国勢調査データをベースに算出 (H12.10.1 及び H22.10.1 時点) ※⑧公共交通：都市機能誘導区域内の各駅のH12年度及びH22年度の日平均乗車人員を算計 (出典：札幌の都市交通データ)